

ス

★スカウトズOWN 〈ScoutsOwn〉

スカウト自身が行う礼拝のこと。

この言葉のあとに略された言葉がある。正式には ScoutsOwn Service である。

「自身の」という言葉の中には、of the Scout, by the Scout, for the Scout という意味を含む。従って「スカウト礼拝」ということである。

スカウトズOWNへの出席は自由参加を原則とされる。また、キャンプ期間中の日曜日に行うものであると考えられていた時期もあるが、スカウトズOWNはいつ行ってもよいものであり、隊集会や班集会でも行うことがある。

教育規定第1 - 22 スカウトズOWN

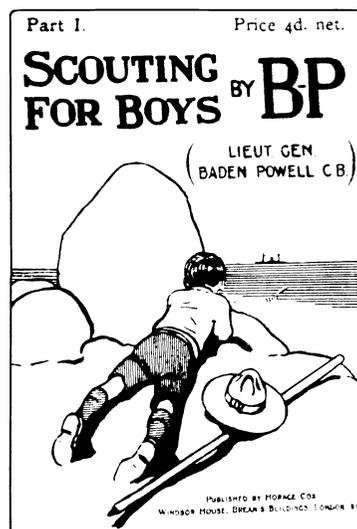
「スカウトズOWNは、加盟員各自の信仰心を高揚するために行われ、それはちかいとおきての実践をより深めるものである。」

★スカウティング フォア ボーイズ 〈Scouting for Boys〉

ベーデンパウエルが1907年に行ったブラウンシー島での実験キャンプをもとに、1908年1月にスカウティングの原理と方法について著した本のこと。創刊された当時は、隔週発行の雑誌で1冊4ペンスであった。

少年達を対象にした部分は夜話（ヤーン）のかたちで書かれている。当時の子供達の間で、ベストセラーとなった。スカウティング フォア ボーイズを読んだ少年達は、自分達で、ボーイスカウトの班を作りボーイスカウトとしての活動を始め、現在のように世界の主要なボランティア青少年活動に発展した。

⇒「少年団教範」参照



★スカウト 〈Scout〉

原義は「さぐる」、「斥候」という意味。

斥候とは軍隊用語で、スパイとは異なり、自軍の陣地前面の敵陣に潜入し、敵軍の状況を偵察して来ることを意味する。斥候は他人からの情報を得るのではなく、自らの目を見て、耳で聞き、正しい判断を下すことが必要であり、冷静な判断と勇気と機敏な行動が要求される。ボーイスカウトはこのような技能を身につけた平和のための斥候である。

★スカウトカラー 〈Scout Color〉

スカウトの記章などによく使われる色。緑と黄色は南アフリカ警察隊のものであり、またトランスバールとオレンジ自由州の色の組合せでもあった。